

WORLD RUGBY

# Coaching in Schools

## 学校におけるコーチング



## Coaching in schools

### 学校におけるコーチング

コーチにとって学校で仕事をする事は、スポーツクラブの環境で仕事をする事とは異なるチャレンジの機会となります。なぜなら、学校は、しばしば独特のルールで運営されているからです。学校で行われるコーチングは、子ども達がいつも通りの行動規範で安心して行動できるように、コーチングも学校と同じルールに従って行われなければなりません。

以下のページには、あなたが学校の平常授業時間、または放課後に学校でコーチをする際に、あなたが学校で歓迎され、再び招かれることを確実にするために役に立ついくつかのアイデアが書かれています。



### Useful tips 役に立つヒント



- ・始める 1 日か 2 日前に、学校に電話をして、自己紹介と到着する時間の確認を行うのがよいでしょう。
- ・最初の日には特別に早く行きましょう。30 分位前にヘッドの先生に会い、以下の点の確認を行いましょう。

- 学校の活動方針と賞罰の方針
- 生徒の登校時と下校時のルール、生徒が授業中にトイレに行ったり、飲み物を飲んだりすることのルール
- スタッフのトイレなど
- 道具がどこに保管され、誰が鍵を持っているかなど
- 救急処置法
- 放課後のクラブ活動を行う場合は、誰がそこにいるのか？両親はどこに子どもを迎えに来るのか？両親は、子どもを迎えに来た時、サインをしなければならないのか？

- ・授業やセッションの始まる 20 分前には学校に着きましょう。学校のどの器具を使おうとするのか、前もって選んでおくことが重要です。
- ・あなたは、ジョンではなく、ミスターミスであるべきです。これは、あなたが威厳を持つ助けになります。「コーチ」と呼ばれるのは良いのですが、子ども達にファーストネームで呼ばせる事には気をつけましょう。
- ・穏やかに、親しく、しかし、厳然としていきましょう。静かな権威をもって、子ども達に接しましょう。語るのではなく、彼らが少しずつ変化していくように問い掛けましょう。但し、それは明確な方で行いましょう。明確な方法で接した方が、子ども達は、よりリラックスできるものです。
- ・特別なケアが必要な子ども達に気をつけましょう。あなたは学校のスタッフからどの子が特別な注意が必要か、聞かされていなければなりません。あなたのセッションでは、特別なケアの必要がある子ども達をサポートする大人が必要かもしれません。あなたは子どもが達成可能な目標を持つように計画を調整する必要があるかもしれません。
- ・特別なケアの必要のある子どもに対しては忍耐強くありましょう。子ども達の中には、彼らを助けることが上手な子どもが、いるかもしれません。それなら彼らにペアを組ませます。もし疑問があれば、どう対処したら良いかを知っているクラスの先生に話しを聞きましょう。
- ・あなたが使った用具がキチンと用具置き場に戻されたことを確認しましょう。
- ・仕事をエンジョイしましょう。子ども達と活動することはとても楽しいことです。彼らはとても熱心で一生懸命であり、彼らに教えることをエンジョイ出来ないということはありません。あなたは学校に到着する時にはいつも大きな笑顔で迎えられるようになるでしょう。

## If there is an injury もし怪我が起こったら

学校には、救急処置の指針があり、その手順に沿って救急処置を行う責任があります。あなたはその指針に沿った正しい手順を確認しておかなければなりません。



### 軽い怪我の場合

- ・傷を負っている子どもや、動揺しているだけの子どもの対応をすることがあるでしょう。あなたは、まずは、活動を止め、クラスの全員の子供達に、静かに座るように指示する必要がある場合もあるでしょう。その後、怪我をした子どもの所に行って、何が問題なのか（怪我の場所・痛み等）を静かに尋ねます。多くの場合は、彼らは数分間、活動を休んだ後、また活動に戻る事ができるでしょう。
- ・もし、彼らが傷を負っているのなら、別の子に彼らを学校の医務室か、指定された応急手当の場所に連れて行くように頼みます。レッスンの終了時には、必ずクラスの先生に怪我があったことと、それがどのように起ったかを話します。

## 重い怪我の場合

- ・ 冷静さを保ち、状況を把握します。
- ・ 2人の信頼できる子を選びます。1人は近くの教室か学校の事務所に報告に行かせます。もう1人には担当の先生を呼んでくるように頼みます。
- ・ あなたは怪我をした子に付き添います。その間、他の子ども達には怪我をした子から離れて、ホールやグラウンドの反対側などで静かにしているように言います。別のスタッフのメンバーが到着するまで、あなたにはすべての子ども達に対する責任がありますから、子ども達をあなたの目が届くところに待機させること重要です。
- ・ 何が怪我の原因であったにせよ、誰かを叱責することなく、さし迫った目の前の危機に対処します。
- ・ 先生が到着したら、その先生に怪我をした子の世話を引き継ぎ、あなたはクラスを受け持ちます。そして活動を続けるか、もし、子ども達が動揺しているのであれば、着替えさせるために彼らを教室に戻します。話しをする時間を持ち、怪我をした子は元気になるだろうと安心させます。
- ・ 次の休憩の時、または、一日の終了時にあなたは何が起きたかの簡単なレポートを書かなければなりません。（通常は学校が書式を提供します。）正確な報告を記述するために、次の点を記載します。

- アクシデントの時刻
- アクシデントの起った場所
- 事故の名称
- 事故の傷害の詳細
- 関係したスタッフ
- 何が起ったか
- 他にだれが関係しているか